

障害などが不利益にならない大学生活を!

何かしらの支援があれば上手く行くかも・・・
そんな風に考えたことはありませんか?

○障害その他の理由で困難を感じている方の相談に応じ、様々な大学資源へのアクセシビリティの高い大学を目指します。

教職員や各部署と連携して、困難さに応じた配慮を検討します。

授業支援

聴覚障害のある学生

教員による視覚資料配布、ノートテイク

教員によるデジタル送信機着用

映像の字幕つけなど

視覚障害のある学生

音声データの提供、資料の拡大

拡大読書器の設置など

発達障害のある学生

教員によるグループワーク時における本人の特性に応じた配慮など

授業以外でも

○奨学金の説明会への参加

○進路に関わる学内講習会への参加

○図書館の利用など

障害などが障壁とならないように合理的配慮による支援をコーディネートします。

…開室時間…

(平日) 08:45-11:30

12:30-17:00

★11:30-12:30 昼休み閉室

(土日祝と大学休業日は閉室)

…受付窓口…

スタッフ不在の場合は、教育支援課職員が対応します。

プライバシーに十分配慮し、希望があれば面談時には個室を使用します。



北星学園大学 アクセシビリティ支援室

〒004-8631

札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号

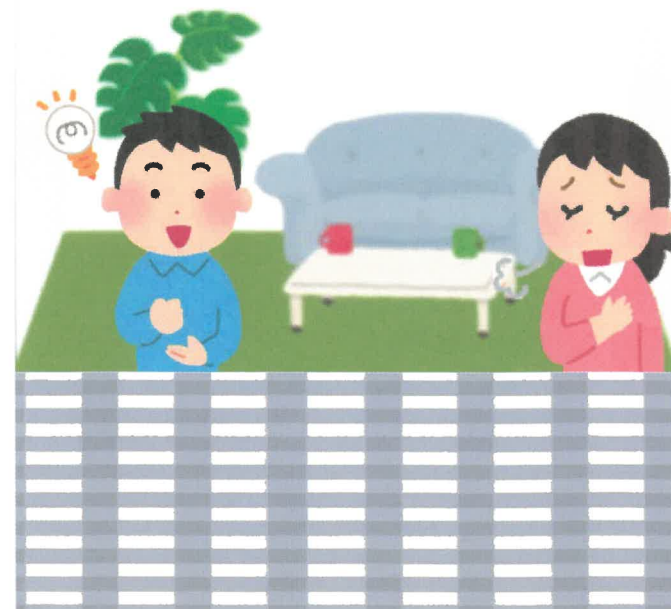
電話: 011 (891) 2731 (代表)

E-mail: acc-support@hokusei.ac.jp

北星学園大学 アクセシビリティ 支援室

障害その他の理由で困難を感じている方への支援をコーディネートします。

アクセシビリティ



相談スタッフ紹介

室長：鈴木 克典 教授

教員：田辺 毅彦 教授（臨床心理士）

コーディネーター（CSW）：北野 麻紀

教育支援課：清野 水香

どのような「支援」が受けられるのですか？

状況に応じて個別・具体的に相談し支援内容を決定
たとえば...

- ◇資料の拡大
- ◇ICレコーダー貸与（視覚）
- ◇上映資料への字幕付け
- ◇DVD文字起こし
- ◇ノートテイクの配置
- ◇重要事項の板書（聴覚）
- ◇滑り止めマット貸与
- ◇座席位置の配慮
- ◇試験時間延長
- ◇教室変更（肢体不自由）など

受付から「支援」を受けるまでの流れは？

1受付:

- ・支援を希望する学生は「アクセシビリティ支援室」に連絡してください。裏面に記載されているメールアドレスでもご連絡いただけます。

2面談:

- ・面談は予約優先です。
支援を必要としている現在の状況や具体的な要望内容について、スタッフが詳しく伺います。

3支援内容
決定:

- ・学生本人、アクセシビリティ支援室、教職員や関係部署等で協議をし、合理的配慮に基づく支援内容を決定します。

4支援開始後:

- ・決定した支援内容に基づいて支援が開始されますが、その後も支援内容を随時見直し、必要に応じて修正していきます。



↑ 面談室2



↑ ミーティングルーム

支援が必要な学生のために 役に立ちたいのですが？

アクセシビリティ支援室では、障害のある学生への支援に関わる学生スタッフを、常時募集しています！
ノートテイク（授業中横に座って先生の話を書き起こす人）として聴覚障害のある学生への支援をする方をはじめ、様々な支援に関わる学生を必要としています。
関心のある方はぜひ支援室に問い合わせてください。
支援活動は全て有償です。

“アクセシビリティ”とは何ですか？

アクセシビリティとは…

必要とする情報や資源・施設等に、障害の有無に関わらず誰もが容易にアクセスでき誰もが、それを利用できることをいいます。

例えば…

車椅子利用の方が階段横のスロープを使う。
聴覚障害のある方が、ノートテイク支援を利用する。アクセシビリティの高い大学を目指すための全学組織として「アクセシビリティ支援室」が新しく設けられました。支援室では個々の学生対応に留まらず、施設設備等学習環境、及びユニバーサルデザイン等についても検証していく予定です。